

### 3. 林業経営と県営林

#### (1) 森林組合

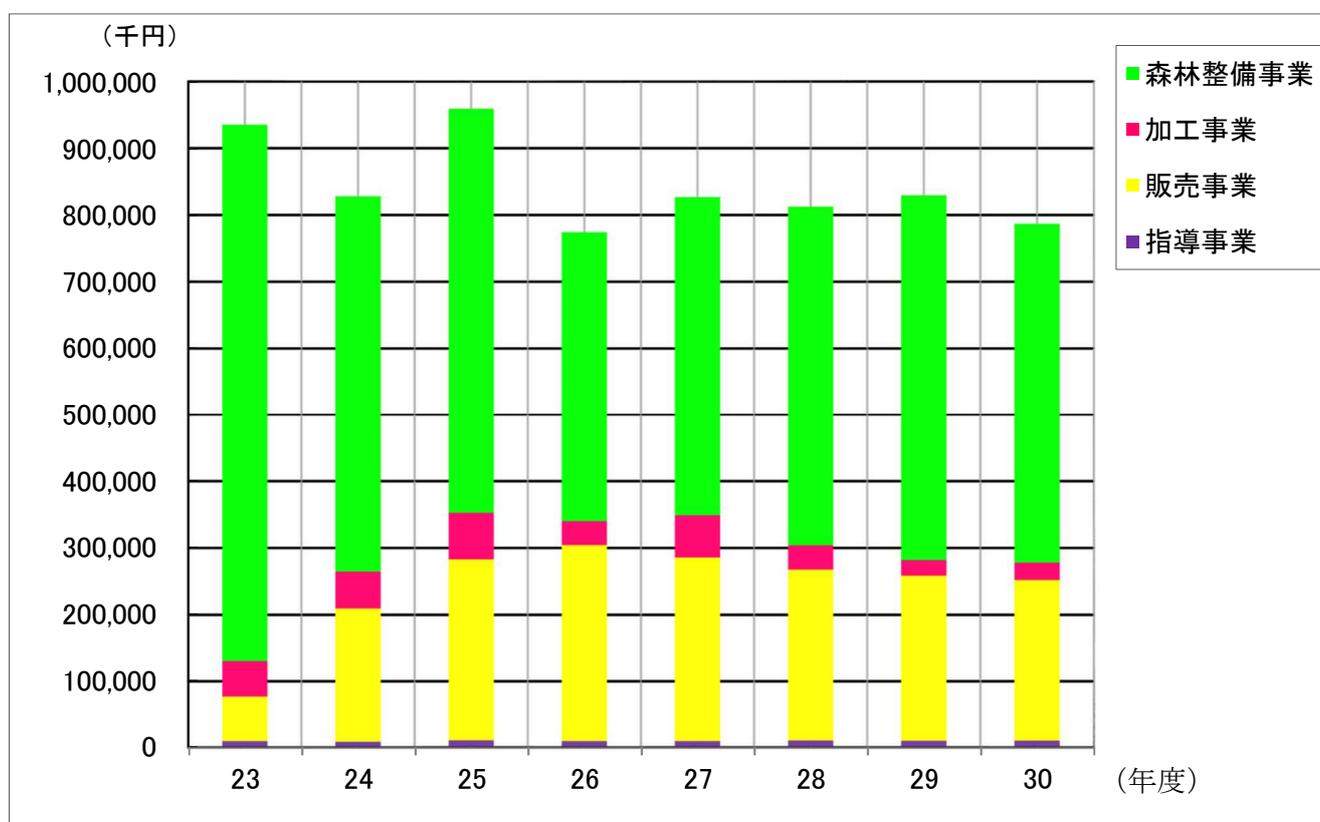
平成18年11月1日に、千葉市森林組合を除く14組合が合併し、千葉県森林組合が発足したため、県内の活動組合数は2組合となっている。

平成30年度末における組合員数は14,778人、組合員所有森林面積は29,577haで、私有林面積(R1年度：139,249ha)に占める割合は21%である。また、払込済出資金額は、93,201千円である。

事業総収益の推移（2森林組合の合計）

(千円)

年度	事業別収益				事業総収益 (合計)
	指導事業	販売事業	加工事業	森林整備事業	
23	9,462	67,497	53,646	804,657	935,262
24	8,662	200,769	55,435	563,318	828,184
25	10,818	272,187	69,750	606,535	959,290
26	9,623	294,599	35,944	434,203	774,369
27	9,664	276,269	63,118	477,933	826,984
28	10,480	257,314	36,212	508,511	812,517
29	10,174	248,300	23,477	547,694	829,645
30	10,212	241,995	25,919	508,775	786,901



平成30年度の事業総収益は、前年同期と比較して5%減の786,901千円でした。

なお、総収益に占める各事業の収益割合は、平成23年度は森林整備事業が約90%を占めていたが、平成24年度以降は販売事業が30%前後、森林整備事業が60%前後で推移している。

### 事業総利益に占める事業管理費の推移（2森林組合の合計）

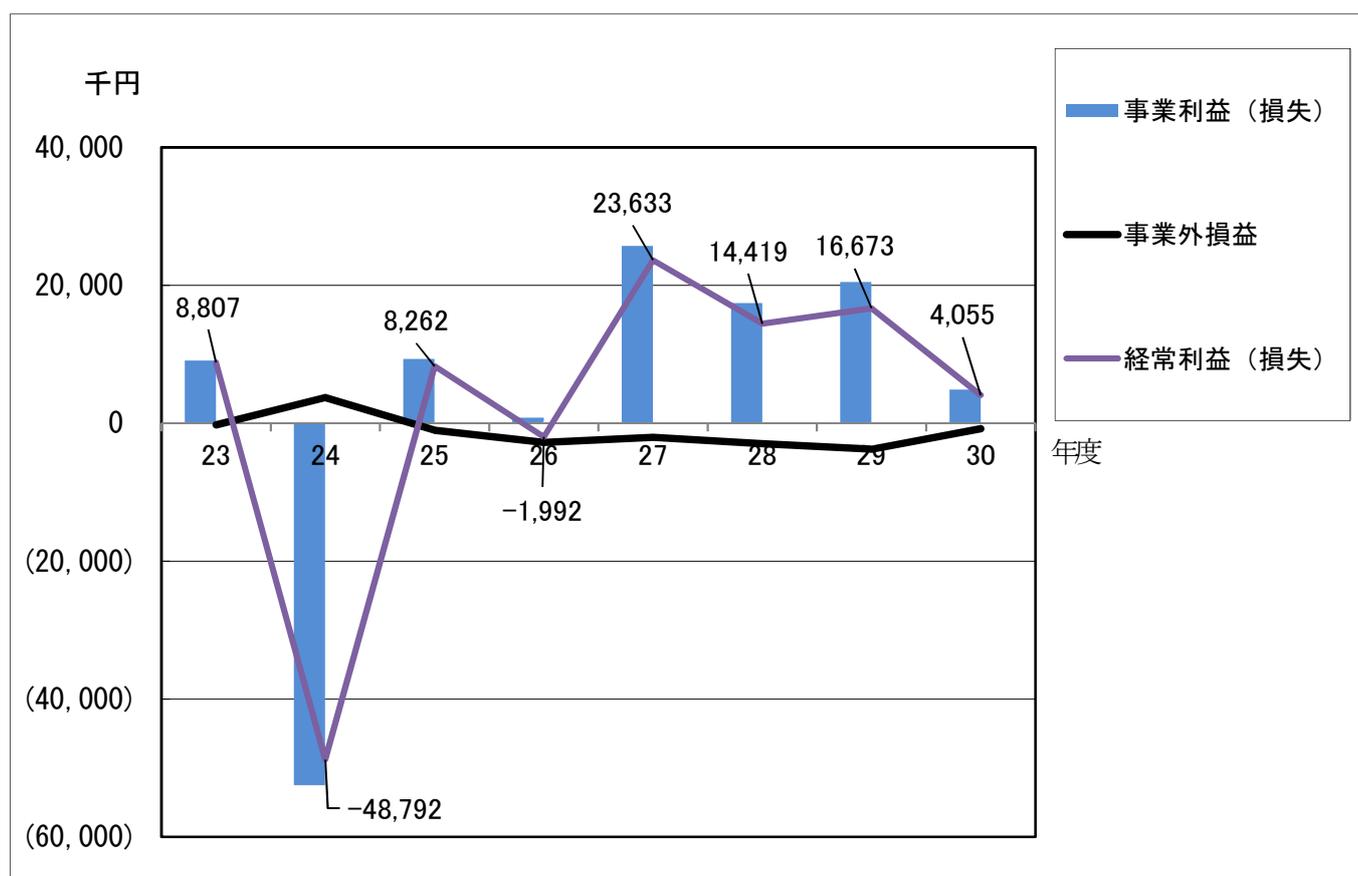
年度	事業総利益 (千円)	事業管理費 (千円)	事業利益(損失) (千円)	事業管理費/事業総利益
23	151,771	142,699	9,072	94.02%
24	94,878	147,394	-52,516	155.35%
25	60,246	206,886	-146,640	343.40%
26	161,176	160,398	778	99.52%
27	194,603	168,921	25,682	86.80%
28	193,765	176,379	17,386	91.03%
29	198,079	177,624	20,455	89.67%
30	194,608	189,739	4,868	97.50%

注1 事業総利益＝事業総収益－事業総費用

注2 事業利益（損失）＝事業総利益－事業管理費

平成30年度の事業総利益に占める事業管理費の割合（管理コスト）は、前年同期比7.83%増となった。

### 経常利益（損失）の推移（2森林組合の合計）



注 経常利益（損失）＝事業利益（損失）＋事業外損益

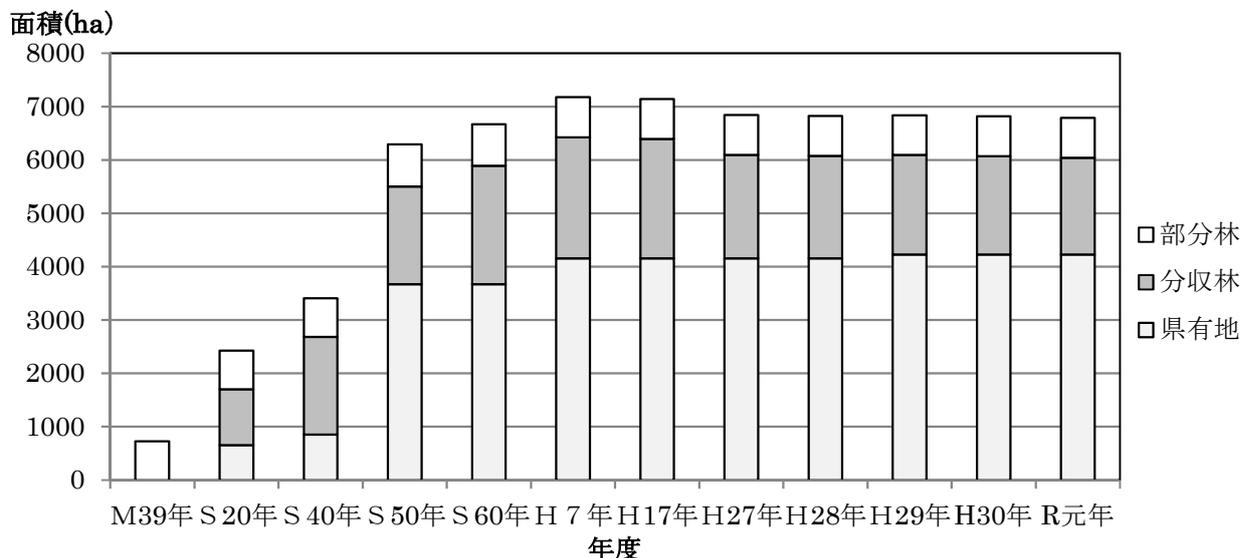
平成30年度事業の経常損益は、前年同期比76%減の4,055千円となった。

## (2) 県営林

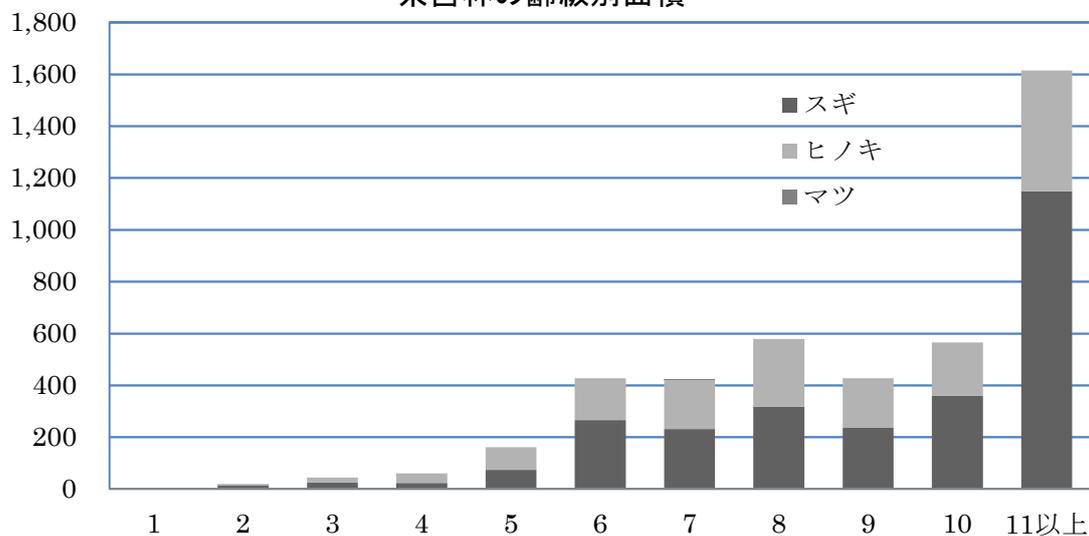
—県営林の整備をさらに推進—

### 県営林面積の推移

(令和2年3月31日現在)



### 県営林の齢級別面積



県営林は、森林経営を通して、木材の安定的な供給、県土の保全、水源かん養等の森林の有する公益的機能の維持増進、地域の振興、県基本財産の造成等を行っている。大半は、県中南部に位置し、令和元年度末の面積は、6,787ha（県有林 4,229ha・分収林 1,812ha・部分林 746ha）となっている。

地域別面積は、安房・夷隅地区（南部林業事務所管内）2,730ha、市原・君津地区（中部林業事務所管内）4,036ha、長生・香取地区（北部林業事務所管内）22haとなっている。30年度から公益保全林723haについても特別会計営林事業により整備を開始した。

令和元年度事業で下刈、間伐等の保育事業79.27haを実施した。また、林産物については、素材1,260m<sup>3</sup>、立木3,348m<sup>3</sup>等を売払い14,555千円の収入を得た。